

## お願い



飲食

本会場内でのペットボトル飲料以外の飲食はご遠慮ください。  
飲食はロビーまたは多目的室をお願いします。  
ロビーには飲み物とお菓子を用意してあります。ご自由にどうぞ。



手荷物

手荷物・貴重品については自己責任での管理をお願いします。  
盗難・紛失等についての責任は負いかねます。会場にクローク等を用意しておりません。



お手洗

利用可能なお手洗は会場フロアのみです。ご協力をお願いします。



喫煙

会場内は禁煙です。喫煙はロビー隣にある喫煙室をお願いします。



懇親会

Webで事前にエントリを済ませている方は、懇親会受付にて5,000円をお支払いの上、ステッカーを受け取ってください。懇親会受付は昼休みにロビーに設置されます。懇親会費のお支払いは、懇親会が始まる前に必ず済ませてください。



写真撮影

会場内での写真撮影をされる方は自己責任でよろしくをお願いします。



名札

名札は参加者であることの認証に利用します。  
会期中は名札を見やすい位置に着用してください。



座席

座席に余裕がありません。  
お声をかけあって、一人でも多くの方が着席できるようにご協力をお願いします。



# 日本 Rubyカンファレンス 2006

2006.6.10(Sat), 11(Sun)

日本 Rubyカンファレンス 2006 <http://jp.rubyist.net/RubyKaigi2006/>

会場：独立行政法人 産業技術総合研究所臨海副都心センター別館（バイオ・IT研究融合棟）

主催：日本 Ruby カンファレンス 2006 実行委員会、日本 Ruby の会

後援：独立行政法人 産業技術総合研究所

特別協賛：株式会社ネットワーク応用通信研究所

協賛：サイボウズ・ラボ株式会社、株式会社永和システムマネジメント、サン・マイクロシステムズ株式会社、  
（順不同）株式会社ツインスパーク、日本コムド株式会社、有限会社メロートーン、株式会社ドリコム、株式会社ミーム



CybozuLabs



サン・マイクロシステムズ株式会社



C-O-M-O-D-O™  
EnterpriseSSL

mellowtone  
LIFE IS A MELODY



6月10日 タイムテーブル	
9:15	開場
9:45	開会
10:00	高橋征義 「Rubyの歴史」
10:30	井上浩 「NaClのオープンソース戦略～そして今後のRuby戦略に関して～」
11:00	基調講演 まつもとゆきひろ 「State of the Dominion」
12:00	昼休み
13:15	パネル企画 パネリスト：まつもとゆきひろ、ささだこういち、小迫清美、卜部昌平 コメンテータ：なかむら(う)、わたなべひろふみ、やまだあきら、青木峰郎、中田伸悦、助田雅紀 司会：高橋征義
14:15	休憩
14:25	arton 「Rubyizeによる言語境界の越え方」
14:55	田中哲 「使いやすイライブラリAPIデザイン」
15:25	石塚圭樹 「Rubyプログラミング+モデリングでより楽しくなるうー その1」
15:55	休憩
16:05	なひ 「セキュアアプリケーションプログラミング」
16:35	後藤謙太郎 「仕事で使うRuby」
17:05	前田修吾 「Railsによるメタプログラミング入門」
19:00	懇親会 場所：日本科学未来館7階 展望レストラン「basara (バサラ)」(18:30開場)

6月11日 タイムテーブル	
9:15	開場
10:00	ただただし 「Ruby anywhere ～ Ruby普及のためにアプリケーションができること」
10:30	関将俊 「dRubyをもう一度」
11:00	中島拓 「Amrita2の紹介」
11:30	secondlife (館野祐一) 「Perlの会社で使われるRubyの利用法とは!？」
12:00	昼休み
13:15	パネル企画 パネリスト：大前潤、ストヤン ジェコフ、瀧内元気、高木宏 (Gollum) コメンテータ：moriq (吉田和弘) 司会：高橋征義
14:15	休憩
14:25	moriq (吉田和弘) 「RailsによるWebアプリケーション開発・保守事例の紹介」
14:55	西和則 「ActiveRecordを詳しく」
15:25	基調講演 David Heinemeier Hansson 「One controller, many ins, many outs」
16:35	LightningTalks 5分間のプレゼンテーションを11本行います
17:50	閉会

プログラムは予定です。予告無く変更する場合があります。

高橋征義 株式会社ツインスパークにて主にWebアプリケーション開発に従事するかたわら、前世紀末ごろからRuby界隈に顔を出し始め、現在は日本Rubyの会の代表を務める。Railsのおかげでとうとう本業でもRubyを活用するようになり感慨深い今日このごろ。共著書に『たのしいRuby』『Rubyレシビブック』。	石塚圭樹 日本で最初のオブジェクト指向関連本の著者。世界で最初のRuby本の作者の一人でもある(^^; 現在は、モデリング関係のコンサルタントとして活躍している。オブジェクト指向プログラミング界とモデリング界の乖離に心を痛め、その解消のために日夜活動している。	Stoyan Zhekov (ストヤン ジェコフ) 年齢36歳。国籍ブルガリア。大学で“Computer networks and systems”を専攻する。約6年間日本に在住。二人の子供(もうすぐ3人)を持つ父親です。現在はSilverEgg Technology株式会社(インターネットショッピングのレコメンデーションサービスを提供)にてシステムエンジニアとして勤務。約2年前にRuby on Railsを会社に提案し現在殆どのプロジェクトに使用されています(内部計算システム、モニタリングシステム等)。尚、関西Rubyの会でも活動中。
井上浩 「オープンソース・フロンティア」ネットワーク応用通信研究所の代表取締役社長として現在は企業経営に専念している。大学卒業後機械の製図を書いていたが、オフコンSEに転身しIT産業に身を置くようになった。そして、10年前ネットワーク応用通信研究所を仲間と設立する。家族は妻と4人の子供が居る。まつもとと家に4人目の子供が出来たのは、我が家の影響が大きいと自負しているらしい。最近の悩みは未っ子の長女との熱い関係を妻が嫉妬して困っていることである。	なひ 標準添付ライブラリのうち、soap関連、csv、loggerのメンテナ。その他配布物として、OpenPGPライブラリ、HTTPクライアント、暗号アルゴリズム仕様PKCS#1実装など。本職はセキュリティソフトウェア開発が中心で、C++がJavaを採用することがほとんど。	瀧内元気 1980年生まれ。8歳ごろにプログラミングと出会う。以来、その面白さに魅せられ、検索エンジンからレングリングエンジン、ウェブサービスの開発まで手広く扱う。昨年11月より株式会社ドリコムに勤務。社内でRuby on Railsの啓蒙活動などを行う。また、オープンソースソフトウェアコンテスト「Award on Rails」の裏方を勤める。
井上浩 「オープンソース・フロンティア」ネットワーク応用通信研究所の代表取締役社長として現在は企業経営に専念している。大学卒業後機械の製図を書いていたが、オフコンSEに転身しIT産業に身を置くようになった。そして、10年前ネットワーク応用通信研究所を仲間と設立する。家族は妻と4人の子供が居る。まつもとと家に4人目の子供が出来たのは、我が家の影響が大きいと自負しているらしい。最近の悩みは未っ子の長女との熱い関係を妻が嫉妬して困っていることである。	後藤謙太郎 Rubyとの出会いは、fj.sourcesに流れていたバージョン1.0リリース。今年でユーザー歴10年目。これまで標準添付ライブラリのbenchmark.rbや組み込みモジュールPrecisionなど。WEBRickという名前の言いたしっぺ。過去にRubyに関するいくつかの雑誌連載記事を執筆。現在はウェブを商う小さな会社シングラムのエンジニア兼共同経営者。	高木宏 (Gollum) 1957年生まれ。プログラマ脳は関数型・手続き型世代で、オブジェクト指向がよくわかっておりません。ネットワークセキュリティ機器の保守・運用・会社に勤めています。Rubyには、2002年にインターンの女子大生から感染しました。機器のシステムログ集計解析のためのツール、SNMPなどを使ったちょっとした管理ツール、保守契約管理などの社内業務のRailsによるWeb/DBアプリ、自社開発セキュリティ機器のWebUI、などでRubyを使っています。
まつもとゆきひろ Rubyと4人の子供たちのパパ。でも、子供たちには絶対に「パパ」とは呼ばせない。昨今Rubyが目ざされている真の原因はRailsではなく、ヒゲではないかと考えている。	前田修吾 1975年11月24日生まれ。1997年、JavaHouse-Brewers MLにて高木浩光氏の紹介によりRubyを知る。1999年、Rubyを仕事にするため、(株)ネットワーク応用通信研究所に入社。以後、年々Rubyのコードを書く機会が減っている(代りにWordやExcelに触れる機会が増えている)のが悩みの種。	高木宏 (Gollum) 1957年生まれ。プログラマ脳は関数型・手続き型世代で、オブジェクト指向がよくわかっておりません。ネットワークセキュリティ機器の保守・運用・会社に勤めています。Rubyには、2002年にインターンの女子大生から感染しました。機器のシステムログ集計解析のためのツール、SNMPなどを使ったちょっとした管理ツール、保守契約管理などの社内業務のRailsによるWeb/DBアプリ、自社開発セキュリティ機器のWebUI、などでRubyを使っています。
ささだこういち 非学生。言語処理系、主に実行系に興味があり、次期Ruby処理系となる(なつてほしい)YARV : Yet Another RubyVMを作っています。	小迫清美 1963年、山口県に生まれる。ふつうの理系プログラマ。2000年、初めてRubyに触れる。2001年、2MBのファイルを添付したメールをruby-devに出して大騒ぎを買う。2002年、Rubyのために作成した正規表現ライブラリを公開する。2005年、Rubyのコミッターになる。	ただただし フリーソフトウェアのWeb日記ツール「tDiary」のメイン開発者。本業はOS/2、Windows向けアプリケーション開発者を経て、現在はWebプロデューサ。仕事とRubyはぜんぜん関係なし。
卜部昌平 1981年島根県松江市生まれ。最近の趣味はバグ観察。日夜Rubyのバグを生温かく観察している。自身唯一のRAAエントリが「Rubyのバグ(勝手に)トラッカー」である。好きなメソッドはdefine_method、嫌いなのはprivate。	arton 修行時代を経て90年の頭くらいから元Win16プログラマ、元NetBIOSプログラマ、元WinSockプログラマ、元COMプログラマ、ちょっぴり.NETプログラマ、現Javaプログラマ。Active Script RubyとかRjbとか異なる世界を繋げるプログラムを書くのが好きです。	関将俊 プログラマ。オブジェクト指向プログラミング、分散システムに興味を持つ。好きな言語はRuby、C、好きなメソッドはmethod_missingとinjectである。主な著作「dRubyによる分散・Webオブジェクトプログラミング」。
田中哲 コミッタ。open-uri、pathname、pp等のライブラリの作者。また、readpartialなどI/O機構にも深く関わっている。「次のようにするとcoreを吐きます」という大量にrubyを落としてみたりもした。GCやIA-64など好んで危険に近よる面もある。Rubyに限らず変な言語を好む。	中島拓 メインフレーム系SE、制御系システム開発者を経て、(株)ブレーンにて、ソフトウェアターゲットソフトPROXY-2000シリーズの開発に携わる。現在、テンプレートソフトウェアAmrita2を開発中。個人としてはessaというハンドル名でブログ「アンカテ」を書いています。	中島拓 メインフレーム系SE、制御系システム開発者を経て、(株)ブレーンにて、ソフトウェアターゲットソフトPROXY-2000シリーズの開発に携わる。現在、テンプレートソフトウェアAmrita2を開発中。個人としてはessaというハンドル名でブログ「アンカテ」を書いています。
田中哲 コミッタ。open-uri、pathname、pp等のライブラリの作者。また、readpartialなどI/O機構にも深く関わっている。「次のようにするとcoreを吐きます」という大量にrubyを落としてみたりもした。GCやIA-64など好んで危険に近よる面もある。Rubyに限らず変な言語を好む。	secondlife (館野祐一) Webアプリケーション大好きのはてなエンジニア。Perlばりばり書きます!と入社したは良いが、現在はもっぱらRubyとJavaScriptを書いている。	西和則 RubyとSmalltalkをこよなく愛す純粋オブジェクト指向マニア。「Rubyに非ずんば仕事に非ず!」を座右の銘に、年の半分は無職。Rubyの普及に対して激しい興味を示している。
田中哲 コミッタ。open-uri、pathname、pp等のライブラリの作者。また、readpartialなどI/O機構にも深く関わっている。「次のようにするとcoreを吐きます」という大量にrubyを落としてみたりもした。GCやIA-64など好んで危険に近よる面もある。Rubyに限らず変な言語を好む。	大前潤 業務系ソフトウェア会社に約8年間勤務。その後Ruby on Railsに出会いFEEDBRINGERを開発。現在は(株)オープングループ技術責任者。	David Heinemeier Hansson is the creator of Ruby on Rails and technical honcho for 37signals. Between leading an open-source community to glory and cranking out hit applications like Basecamp and Backpack, David enjoys igniting passion and ire with his thoughts on software and product development.